



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和8年9月1日 NO.5

042-541-2940

創立47年目（昭和55年開校）

自転車から学ぶもの



校長 前川 法彦

45日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。皆さんの元気な声を聞くことができとても嬉しいです。また、気持ちを切り替え、自分の目標に向かって充実した学校生活を送ってほしいと思います。

私たちが何気なく乗っている自転車は、人の力と器械がバランスよく組み合わさってできている乗り物です。三角形を応用していることや物理的な現象をうまく活用しているだけではなく、バランスが大切になるため、乗れるまで練習が必要であることは、自転車を利用している人は体験から学んでいます。小さい頃は、補助なしで乗れるまで、何回倒れてもチャレンジをして技術を高め、ペダルを踏み続けた人が走る体感を得る喜びは記憶に残っているでしょう。そうした努力のあとに味わう乗り心地は、平地を走る気持ちのよさから、坂道を上る苦しさまで、多くのことを私たちに教えてくれています。まさに、人生そのものといってもいいかもしれません。

自転車は、名刺2枚ほどの面積で車体を支え、止まる・曲がるもしています。また、ゆっくり走れば不安定になりやすく、速く走れば安定します。その感覚をつかむことで、行きたい道と思うままに進むことができ、学びの体験と一人で走って行ける自信をもてたと言えるでしょう。

新しい年、新しい学期、新しい出発、節目などを迎えたとき、期待をもって進もうとする気持ちと、先のことを考えて不安になる気持ちが起こるかもしれません。未来に続く道は、どれだけ急なのかはわかりません。しかし、自分が行くべき道だとしたら、よろけることなく進みたい。そのために、体重を乗せて粘り強くペダルをしっかりと踏み続けることが大切になります。毎日の生活、行事、テストなど、至るところに学べるチャンスがあり、やりきることで、次に進む力が得られます。ひたむきな姿勢が、福中生の成長につながることを期待しています。



現在、全国的に学校での生徒の生成 AI の活用が進められています。このことを踏まえ、福島中学校では、生徒用タブレットでも生成 AI を利用することから、その利用に関する学習を合わせて行ってまいります。保護者の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。